

竹田陽一の経営随筆集

2022年11月8日 第37号



人類進化の重要要因

ハッブル望遠鏡の後継機として、ジェイムズ・ウェッブ望遠鏡が打ち上げられ、地球から160万kmの上空から宇宙を撮影しています。

鏡の大きさは直径が約6mもあるので、とても遠くの銀河まで撮影できます。

そればかりか、太陽系以外の惑星に、生命の可能性のあるものを探ることができるそうです。

サルの共通の先祖から進化した人類が、これだけ優れた機械装置を作り出すまでには長い年月がかかっていて、その間は何回か飛躍的に進化するキッカケがあったようです。

霊長類と呼ばれる共通の祖先から最初に分かれたのがオランウータンです。次に700万年ほど前に分かれたのがゴリラになります。そのあと500年ほど前に分かれたのがチンパンジーになります。

①人類が大きく進化する最初のキッカケになったのは、2足歩行をするようになったことにあります。

これまで生活していた地域が「乾燥化」したことで、森が減少して草原が多くなりました。

これによって樹上生活だけでなく、木から下において草原を歩かざるを得なくなったのです。

②大きく進化した2番目は、足の「カクト」の骨が大きくなり、しかも、強くなったことにあるそうです。

長い距離を歩くには、当然足に負担がかかります。このとき足のカクトの骨が大きくなったことで、歩くことに適応できたそうです。

③大きく進化した3番目は、両手が自由に使えるようになったことにあります。これによって道具を作ったり、作った道具を上手に使う知識や技術が発達しました。

④大きく進化した4番目は、考えていることや経験したことを、他人に伝える言葉が上手に話せるようになったことにあります。

話すための言葉を専門に担当する脳の部分を「ブローカ野」と呼んでいます。化石の研究によって150万年前頃から、ブローカ野の脳が大きくなっていったことが解りました。

これにより父や母が経験した知識が子供に伝わるようになり、しかも経験による知識が蓄積したことで、人類がより賢くなったのです。

⑤人類が大きく進化した5番目は、文字の発明になります。文字を発明したことで、遠くにいる人や外国の人が考え出した知識や知恵、それに技術まで自由に手に入るようになったことで、人類の知識や技能が飛躍的に進化しました。

地球から130億光年も離れた所にある銀河を、観測するため高性能の望遠鏡を作り、しかも地球から150万kmも離れた所に人口衛星として打ち上げに成功したのは、いくつもの知識が蓄積されたからです。

Lanchester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院 301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>